



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和6年5月1日号
発行

自民党

神奈川県支部
発行責任者
平木 茂

5月号
2024年

No.254

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

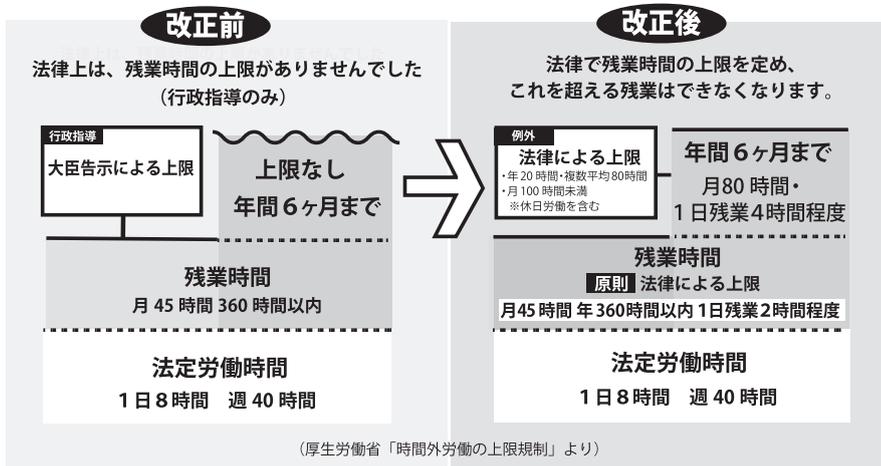
2024年
問題

「働き方改革」の見直しを提言します

令和6年4月から施行

物流・医療の現場等から改善の声高まる

改正前と改正後のポイント



2019年4月に「働き方改革関連法」が施行しましたが、建設業・ドライバー・医師等の時間外労働の上限規制に関しては、実情を踏まえ5年間の猶予期間が設けられていました。2024年3月で猶予期間が終了し、4月からは上記の業種も規制対象となりました。そのため、物流の現場や医療の現場から、改善を求める声が強まっています。

この問題ですが、確かに働く人の労働環境を守ることが最優先ですが、総労働時間規制により「働きたくても働けない」人が出ているのも事実です。

残業時間の減少は所得の低下も導きます。また医療の現場においても、医師や看護師不足が地域医療の安定した運営に影響を与え始めています。特に救急や休日診療の分野などでは、元々常態化していた医療スタッフ不足がさらに深刻化しており、これは物流や建設業でも同様の状況となっています。

確かに自動化や省力化の努力で賄える部分もありますが、医療や建設、物流は直接人が携わらなければ動かない分野でもあります。また、コロナで高齢労働者の離職が相次いだことも、この問題に拍車をかけています。政府は「年収の壁」対策で、パート・アルバイトの方の労働時間を増やす取り組みをしていますが、それだけでは対応できないのが現実です。国の「持続可能な物流の実現に向けた検討会」では、何も対策を行わなかった場合には、営業用トラックの輸送能力が2024年には14.2%、さらに2030年には34.1%不足する可能性がある試算しており、先送りできる問題ではありません。

現在、60時間を超える時間外労働に関して、50%以上の割増賃金、さらに深夜(22:00~5:00)の時間帯に関しては、+25%(合計75%)の割増賃金が義務化されています。このような大きな引き上げ率の割増賃金を払ってでも、労働者を確保しなくてはならない状態にあるのです。(2023年4月から中小企業にも適用)これらの複数要因で、人手不足倒産が発生しているのも事実です。

労働基準監督署などにより国はこれを監視していますが、労働者からの申告がない限り、その実態が見えない部分もあり、逆に規制をかけたことでサービス残業が増えたという事例も報告されています。

これらを解決するには、一律の上限規制ではなく、業種業態に応じた時間規制などに変更し、労使間の合意(残業をさせる場合、三六協定が必要)で一定の裁量を持たせることも必要と考えます。これらを柔軟に運用し、これに反するサービス残業などを厳しく取り締まる必要があります。

松本純はこの問題に関して、雇用側労働者側、双方の声をよく聞き、社会システムの維持のための必然性などを踏まえ、両者にとって最良の働き方となるよう改善に向けて努力を進める所存です。

【2024年4月】

松
本
純
の
活
動
記
録

- 9日●神奈川県理容生活衛生同業組合磯子金沢支部新年度会
- 10日●日本病院薬剤師会会長懇談会
- 12日●国税労組・国税東京ご挨拶
●聖光学院トランブレ・トマス先生を偲ぶ会
- 14日●台湾東部沖地震被災地救援募金活動(中区)
- 16日●JUN CLUB定例会

- 杉田十日会商店街例会
- 17日●花純会(松本純女性後援会)
- 20日●第49回野毛大道芸
●隊友会横浜南支部総会
- 21日●台湾東部沖地震被災地救援募金活動(磯子区)
- 28日●台湾東部沖地震被災地救援募金活動(金沢区)



4/5 金沢シーサイドFM「自助カナ!!」
●小林英生パーソナリティのFM番組「自助カナ!!」に松本純が出演。国家公安委員長・防災担当大臣としての経験に触れながら、自然災害への備えを丁寧にお話しました。



4/7 令和6年度野毛地区連合青年会総会●議案は全て承認され、河本泰繁新会長はじめ新役員が選出されました。続く懇親会で北村彰康会長、河本新会長からご挨拶があり、松本純は感謝とエールを送りました。



4/12 旧知の友人である劉世芳氏が台湾内政部長(大臣に相当)に就任内定●内政部とは公安や出入国、防災などを担当する部署です。大臣時代の経験を踏まえ、日台の橋渡しをさらに進めてゆきたいと考えます。



4/13 横浜市中消防団発足式●中区の伊勢佐木・加賀町・山手の3つの消防団が統合され「横浜市中消防団」が誕生しました。発足式で高橋伸昌団長は「常に郷土愛を持ち任務に取り組む」と決意を述べました。



4/14 山元町二丁目商店街朝市●販売開始前から多くのお客様が列を作り、お天気にも恵まれた会場は大変な盛況を見せていました。松本純もお手伝いをしながら、店主さん、お客様とのふれあいを楽しみました。



4/14 第18回関内フード&ハイカラフェスタさくらまつり●秋山修一関内まちづくり振興会会長の下、魅力溢れるフードとイベントに大勢の皆さんが来場。松本純もスタッフの皆様やお客様との交流を楽しみました。



4/14 県日華親善協会主催台湾東部大地震街頭募金●4月3日に発生した台湾東部沖地震被災地救援のための街頭募金活動を行い、寄せられた募金を23日に台北駐日横浜分所張淑玲総領事にお渡ししました。



4/20 第49回野毛大道芸●平成2年に実行委員長を務めた松本純は来賓テントに田井昌伸・実行委員長(写真右端)を激励訪問。晴天に恵まれ、沢山のお客様が芸人さん達の数々の妙技に大きな拍手を送っていました。

永田町日記

政策集団「志公会」存続について

自民党の政治資金問題に関して、多くの疑問を生じさせていることをお詫び申し上げます。しかし、志公会においては、全て適切に処理されていることが確認されています。

2017年7月3日、番町政策研究所、天元会、為公会の三派閥が合流し志公会が発足した際、事務局長を務めていた松本純が志公会全ての政治資金を銀行口座管理としたからです。

派閥のパーティーの資金も議員別の派閥口座で分別管理され、議員への資金もすべて振込で行われてきました。誰が見てもわかる透明性のある仕組みとなっています。

また、志公会は、政策集団として政策作りと実行のための仲間の集まりであり、国会開会中は週に一度会合を開き、他にも研修会を開くなど議員教育の場でもあります。また、そこで生み出された政策集をパーティーの際にお配りしてきました。民主主義において数は力であり、政策の練り上げや実現のために、政策集団の役割は非常に大きいと考えます。このため、麻生会長は志公会を存続させると明言し、会員一同それに賛同しています。

